

町の現況

昭 42・8・1 現
世帯数 1,578人
人口 6,467人
男 3,131人
女 3,336人



No. 181

9月 42年

田代町総務課編集 毎月5日 1,650部発行

敬老の日

九月十五日は敬老の日

老人がいちばんのぞんでいることは「老人あつかい」をやめてもらうことです。適当な責任のある仕事を任してももらうことです。

主な内容

最終年度を迎えた林構事業・・・(2)

国民年金がまたあがります・・・(2)

結核検診を受けましょう・・・(3)

お知らせ・・・(3)



〈写真は馬場部落の木佐貫イシさん(95才)〉

8月の気象

天気 晴23日 曇7日 雨1日

月間雨量 36mm

気温 最高 33.6℃
最低 20.2℃
平均 27.4℃

9月のこよみ

- 4月 婦人会長会、麓地区畜産品評会
- 5月 川原地区畜産品評会、郡養業者講習会(盤山)
- 6月 東部地区畜産品評会
- 7月 選挙監理委員会、民生委員会
- 9月 川原地区永寿会、職場バレー大会
- 11月 田代校区婦人学級
- 13月 県議会文教委員視察
- 14月 大原校区婦人学級
- 15日 敬老の日(老人訪問)
- 20日 麓地区永寿会
- 23日 田代高校運動会
- 26日 定例議会
- 27日 農業委員会
- 30日 田代中運動会
- 下旬 下旬 たばこ収納
- 11日、22日、結核検診

9月の納税

完納の手で育てよう
明るい田代健康保険税の
第二期分の納期です

暑さでいためつけられた胃腸も、涼風とともに回復してきます。これからたくさん出る季節のくだもの、野菜、魚等をたくさん食べて、弱っている体力を充実させましょう。青じそは秋の野菜の中で、ビタミンAに変わる物質を最高に含んでいるといわれます。めん類の菜味によし、つけ物に添えるのもよし、ころもをつけてあげても大へんおいしいものです。

にらは古書によると万病の良薬といわれる程、優秀な緑

食欲の秋 *****

色野菜です。九月が一番おいしい時期です。

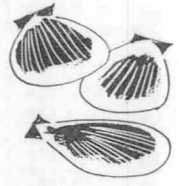
くだものでは、かき、くりぶどうなど一年中で最も果物が出回る時期です。

季節のさかなでは先ず栄養価が高く、安いさんまや、小あじ、秋さばなどが出回ってきます。

これらの季節ものは、余り手を加えないで自然に近いまゝで食べるほうが、栄養価も高く、味もよいといわれています。ただしまだ食中毒の発生がある季節です。十分注意して召し上ってください。

心の温まる
話二題

◎折小野の長谷幸吉氏の息子さんは、先般鹿屋市で急病になりキク薬店に行つたところ、支店長代理の方は病院へ行かねば駄目だと自分の金でタクシー代、治療代まで出して世話をされ、



食欲の秋

こどもの

交通事故

家から二〇メートル以内で多発

こどもの交通事故がふえています。しかも自宅から二〇メートル以内が最も多いということです。とくに幼児のひとり歩きは気をつけましょう。



然もその費用をどうしても受取つて貰えないので、この程その金を町の社会福祉協議会に寄附されました。

◎花瀬青年学級生一同は花瀬神社の夏祭りに踊りを奉納したが、その金得た花代をそっくり町の社会福祉協議会に寄附されました。

印紙税が

変りました

七月一日から領収書や契約書に収入印紙をはつて納めていた印紙税が次のように変りました。

◎受取書(領収書)

一万円未満(現行三千円未満)は不要、一万円以上二〇円ただし営業に關しないものはすべて不要となります。

町内高令者

前田	フジ	明3	10	3	生	96	才
有村	カメ	4	4	1	18	96	
木佐貫	イシ	5	5	9	9	95	
松崎	金次郎	4	4	9	25	95	
小川	オト	5	5	3	28	95	
表木	フン	7	7	9	1	93	
平石	イセ	7	7	8	18	93	
宮原	オトマツ	7	7	2	16	93	
白井	シノ	8	8	10	2	92	
中島	ケサマツ	8	8	9	12	92	
河野	ウシ	8	8	5	8	92	
宮下	スミ	9	9	8	21	91	
湯ノ谷	常次郎	9	9	7	27	91	

計十三人

サイレン時刻の改正

九月一日からサイレン時刻の一部を次のとおり改めます。

◎委任状

従来一律五円が二〇円に、ただし金銭の受領だけを目的とした営業に關しないものは不要となります。

◎土地売渡、工事請負契約書類

一万円未満は不要、一万円以上は若干引上げられています。右のほか貯金証書その他全般に亘つて改正されています。詳細は税務課にお問合せ下さい。

あとがき

朝午前五時→午前六時
夕方午後六時→午後五時

△暑い暑い、といつているうちに、いつとなく涼風がほほをなでる季節が訪れました。

弱つていた食欲もでてきます。忙しい秋の取入れや、冬作の作付などに備えて、早く体力を回復しておきましょう。

△先日は県から、最近の人口急減についての調査が行なわれました。本町でも若い人がどんどん都会へ出て行き、労力不足その他の現象がでています。

これからの農業経営について、人口問題は大きな影響を与えることが考えられます。若い人にとつてみりよくのある農業経営を考えなければならぬ時期がきています。